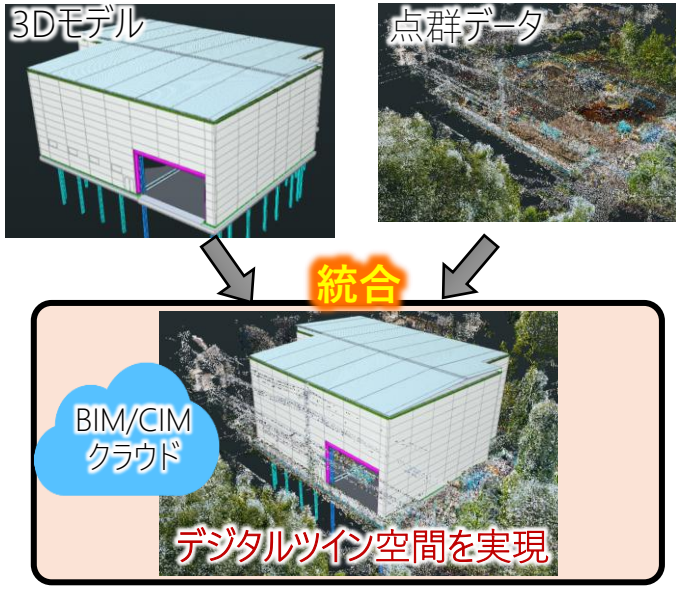
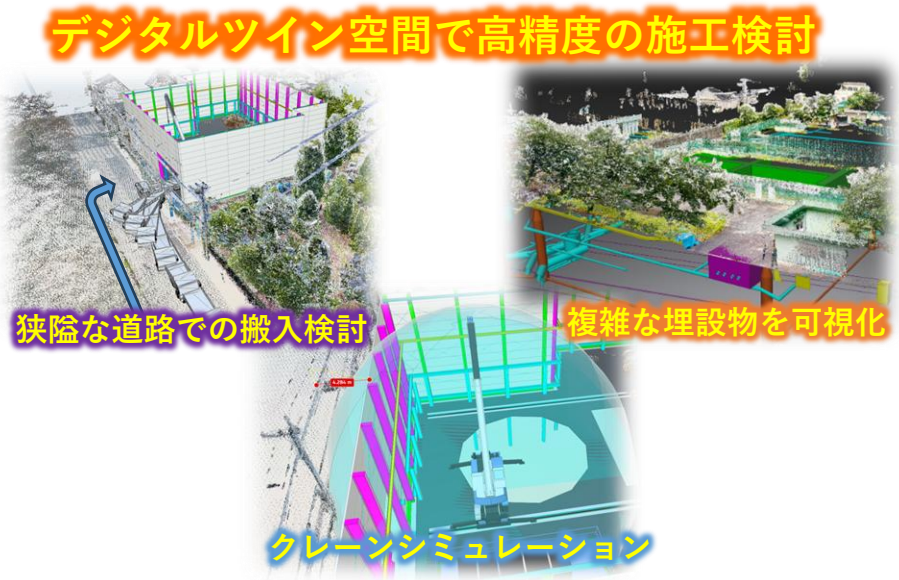
令和８年度　水道局イメージアップコンクール　受賞者の声

【工事件名】	小平市上水南町三丁目地内から武蔵野市桜堤三丁目地内間 送水管（1200mm）用立坑築造及びトンネル築造工事	【施工部署】	西部建設事務所 工事第二課
【受注者】	清水・西武・京成建設共同企業体	【受賞部門】	建設ＤＸ・担い手育成賞（施設・大口径管路・その他工事部門）

【工事内容・取組内容】
◆本工事は、東村山浄水場の更新時に能力低下する多摩地域への送水機能を補完することを目的として、境浄水場を起点とした送水管を整備する事業の内、シールド工法で延長約3.4kmのトンネルを施工します。

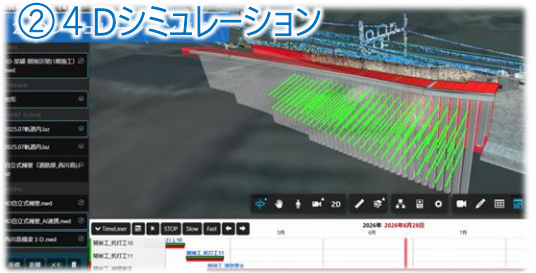
【施工環境・課題】
◆発進立坑
・狭隘な施工ヤード
・交通量の多い五日市街道沿いに面し、民家に隣接
◆到達立坑
・供用中の給水所内での施工（複雑な埋設管）
・施工ヤードが狭隘かつ公共施設（テニスコート）近接
◆シールドトンネル
・長距離かつ狭隘なトンネル坑内
・礫・砂・粘土と変化する地層

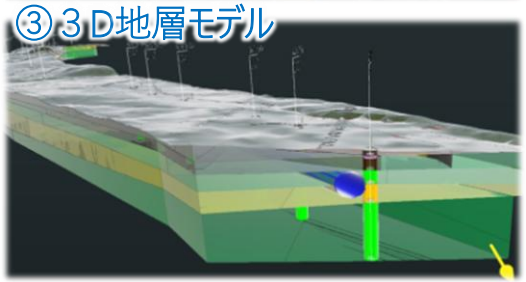


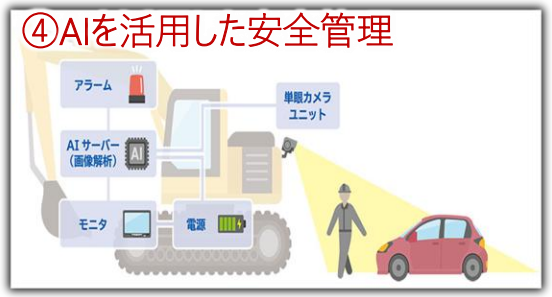


【受賞者の声】
◆施工管理のデジタル化に向けて
　プロジェクトの安全性や品質の向上、現場業務の効率化といった課題に対応するため、現場のDXを推進しています。具体的には、BIM/CIMモデルや点群データ等の様々な情報を「BIM/CIMクラウド」で統合・共有・活用しています。
　今後は、以下の取り組みを実施予定であり、「施工管理のデジタル化」を目指します。
①クラウドにセンサーやカメラなどの「動的な情報」を連携
②BIM/CIMクラウドと工程管理ソフトを連携した「4Dシミュレーション」を実施
③複雑な地層を３D地層モデルで可視化
④AIを活用した安全管理











今後も積極的に建設DXを取り入れ施工管理に活用していきたいと思います。